

源融 河原院跡

源融とは醍醐天皇の皇子であり、源氏物語の光源氏のモデルと言われる人で、宇治の平等院のそばにも別荘（別業）をもっていた。この左大臣源融公が、源政・藤原経経の台頭により隠棲した第「河原院」が、このあたり東西・鴨川の中央あたりから内へ梅田坂通、百重・五条以南正面通あたりまでの大邸宅であった。この板の大樹はこの邸内にあった森の名残といわれる。

すぐそばには、小さな社と鳥居があり、堀入明神が祭られている。この板はその神木として定められ、平成十一年には、京都市の区民の誇りの木一に選ばれた。

また、この河原院の名から河原町という通り名が生まれたといわれている。

平安朝の初期には、この院の邸内の林泉に鴨川の水を引き、「殿舎・塙園」をその間に点在させて、風流を極めた生活がなされていたとこのことで、源氏物語 第一部 最終章 藤原・藤原・藤原 冷泉帝、朱雀院がこの河原院を訪問するところが登場され、「八条院行幸」という場面が描かれている。

また、この邸宅の中にあり、元は数寄屋寺の鎮守社であった天満宮と教王光寺とが一日合併し、今の錦天満宮に移り、その後、明治の神仏分離で、寺は東山五条へ現在は山科大宅へに移築されている。

富小路五条下にある上醍寺通りは、その昔、嵯峨・延暦の風景を模して造られた邸内の池が在った所といわれる。現在の町名、本町通町は錦天満宮の末社で源融公を祀るという塩神社に由来しているといわれる。

京都市
菊浜高瀬川保勝会



河原院跡
(京都府京都市下京区木屋町通
五条下る)にある案内板

光源氏の愛した地・塩釜へ 地域資源∞全国展開支援事業

発行日:平成19年8月22日

発行所:塩釜商工会議所

〒985-8504

宮城県塩釜市尾島町十七番十八号

TEL 022-367-5111(代)

FAX 022-367-5115

ホームページ <http://www.shiogamacci.jp/>